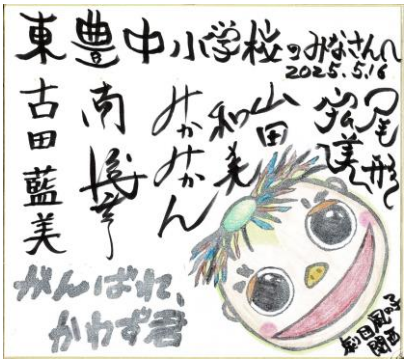
ひがしとよなか だより

学校目標　豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和7年（2025年）度７月号
豊中市立 東豊中小学校
校長　河上洋介

もうすぐ夏休み。１学期のまとめの時期です。



５月１６日（金）に芸術鑑賞会がありました。本校では、音楽鑑賞と観劇を隔年で実施しています。今年度は、劇団風の子さんによる「がんばれ、かわずくん」を見ました。子どもたちの感想を紹介します。「たけしくんがかわずくんとはなれたくないのにばいばいするのがよかったです。」（２年生）「かわず君とたけし君のかんけいが本当に楽しそうで、ぼくもそんな友だちができたらいいです。」（４年生）「最後首元があせでぬれていたので、それだけがんばってやってくれたんだなと伝わってきました。」（６年生）

東豊中小学校お父さんの会から、一輪車を３台寄贈していただきました。また、もともとあった一輪車のうち、タイヤがパンクしていたり、ペダルが外れたりして使えなくなっていたものも、この機会に修理しましたので、今使える一輪車は、全部で１７台になりました。新しい一輪車が人気になると思います。取り合いにならないよう、譲り合って、仲良く使ってください。それから、同じくお父さんの会から、学校図書館に本を寄贈していただいています。新しく入った本を紹介するコーナーに置いて子どもたちに紹介します。「科学探偵 vs. 終末の大予言」「まてないの」「もっと知りたい！日本でくらす世界の友だち」等、出版年の新しいものばかりです。長く大切に読んでほしいです。

第１回学校運営協議会の報告について

５月２１日（水）の１８時半から１９時半まで、多目的室にて第１回学校運営協議会を開催しました。事務局として校長と教頭、委員６名の参加がありました。まず、出席者の承認を得て、会長、副会長を選出しました。次に、学校運営に関する基本方針、学校目標について、事務局より説明を行った後、協議会の承認を得ました。その後、地域、保護者、学校の協働による取組みにかかる熟議を行いました。熟議では、昨年度の運営協議会で話し合われた子どもの見守り活動について、昨年度末に公民分館の広報誌「絆」等で見まもり隊の募集をしていただいた結果、少しずつ隊員が増えていることが報告されました。それから、地域連携ステーションの取組みとして５月に行った６年家庭科の授業支援のように、地域ボランティアによる授業支援を広げていきたいとの意見が委員から出されました。今年度も、学校運営協議会委員の中尾さんには、１、２年生の野菜の栽培や５年生の田植え体験、３年生の収穫体験等でお世話になります。同じく千原さんには、６年生の平和学習でお世話になっています。さらに、校区福祉委員会の世代間交流の取組みとして、１年生の昔遊び体験、３年生の昔のくらし講話を、今年度も予定しています。これら以外にも、地域ボランティアの方に授業を手伝っていただくことができないか、検討したいと思います。

ところで、５月２６日（月）に、子どもの安全見まもり隊の研修会に参加してきました。豊中警察の交通課交通総務係の増田さんから、増田さんが自転車で通学する高校生の様子を見ていた時に、高校生が一時停止を守れていなかったことに触れて、まず大人が手本となってほしいといったお話がありました。関連資料として、裏面に大阪府警からの自転車の違反に関するチラシを掲載しています。